

えがお大東っ子 第5号

大東市小中学生弁論大会

心を言葉に!



小学生の受賞者の皆さん

平成22年11月19日、サーティホールにて第5回大東市小中学生弁論大会が開催されました。小学生1,330名、中学生2,758名の1次予選応募者の中から選ばれた10名の小中学生が、家族や友達と過ごす日々の生活の中で感じた素直な気持ちや伝えたい心を自分自身の言葉でたくましく、

さわやかに語ってくれました。

本選出場者は次の皆さんです。(敬称略)

南郷小6年内山七菜子 南郷中3年小泉桃子
住道南小6年山田小夏 住道中3年園田智史
四条北小6年夏原海 深野中3年田崎寛人
北条小6年黒崎琴 北条中3年東口裕貴
氷野小6年小川夢未 諸福中3年川上杏奈

家族の尊さ、仲間との絆、夢への挑戦、学ぶことの意味…。人の優しさと強さを感じる素晴らしい弁論でした。ここで熱弁の一部を紹介します。中学生の部市長賞に輝いた住道中園田智史さんの「学ぶ権利を考える」です。



中学生の受賞者の皆さん



『学ぶ権利を考える』 住道中3年 園田智史

(前略) 例年住道中学校では二年時に夜間中学校との交流を行っています。(中略) 僕がこの経験を通じて思ったことは、学ぶことは義務であるが、子どもに与えられた大切な権利なのではないかということです。中学校までは義務教育ですが、義務と言われると「しなければならない」「やらされている」という感じがしてしまいます。でも、これは自分の権利なんだと意識できれば勉強への取り組み方も違ってくるのではないかと思います。

学ぶ権利は憲法でも認められている権利です。それをどう生かすかは自分次第です。幸せな現代に生まれ、何の疑問もなく学校に行き勉強してきたけれど、過去には勉強したくてもできなかった人たちがいます。このような悲しい出来事があったことを心にとめて、僕は学ぶことに前向きに取り組んでいきたいと思います。

【紙面の都合により一部を抜粋】



学習指導要領がかわります



小学校では今年の4月から、中学校では来年の4月から、新しい学習指導要領が全面実施されます。＊学習指導要領とは、学校での指導内容や教科書のもとなるものです。



新しい学習指導要領では・・・

子どもたちに「生きる力」をはぐくむため、基礎的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の両方を大切に、それぞれの力をバランスよく伸ばしていくため、授業時数や学習内容の改善が図られています。

こんなところが変わります



○週あたりの授業時間数が増えます。(※すでに増やしている学校もあります。)

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
旧	23	24	26	27	27	27	28	28	28
新	25	26	27	28	28	28	29	29	29

○算数・数学・理科で、新たな学習内容が加わります。

たとえば、小学校では

算数…反比例（6年）、ひし形・台形の面積（5年）
理科…人の体のつくりと働き（4年）など

中学校では

数学…球の表面積と体積（1年）
理科…周期表（2年）など

○小学校5・6年生で週1時間の「外国語（英語）活動」を導入します。

○中学校では、体育科でこれまで選択制だった武道が男女とも必修になります。



新しい学習指導要領は、昨年からすでに移行期間が始まり、段階的に実施されていますが、詳しい内容や日課表等については学校によって異なりますので、各校にお問い合わせください。

いじめのない学校をめざして



毎年11月、大東市内の小中学生を対象に「いじめの早期発見と防止のためのアンケート」を実施しています。(今年度有効回答総数 小学校 7,427人 中学校 3,360人) このアンケートは、いじめ事象の早期発見・実態把握と、いじめ問題の取り組みの充実を目的に行っているものです。

今年度のアンケートで、①「いじめられた時にどうしましたか」という問いに対して「がまんした」(小 28.8%、中 34.9%)と回答した割合が一番高く、学年が上がるにつれて先生や家に相談する割合が低くなる傾向にあり、「学校を休んだ」(小1…0.8% 小6…4.8%、中3…8.4%)は高くなっています。②「いじめを見た時、またはその後で、あなたはどうしましたか」との問いに対して、「黙って見ていた」(小 38.1%、中 49.7%)と回答した割合が一番高く、「止めた・やめるように言った」(小3…34.1%

小6…24.7%、中3…12.2%)、「先生に言った」(小3…24.2%、小6…9.9%、中3…7.7%)と回答した割合は、学年が上がるにつれて低くなる傾向にあることなどがわかりました。詳細については、2月中旬に学校より配付された、「いじめの早期発見と防止のためのアンケート」の結果についてのお知らせをご覧ください。

教育委員会では、アンケート調査の結果をもとに、個々の子どもたちの実態把握はもとより、いじめを許さない学級や学年など集団の在り方について、学校と連携して取り組んでいきたいと考えています。ご協力よろしくお願いいたします。

※いじめ等のご相談は、大東市教育委員会事務局 教育政策室 人権教育グループ
Tel 072-870-9104 までご連絡ください。



平成23年「成人の日」記念式典を実施いたしました

1月10日(祝)、大東市立総合文化センターにて、大東市・大東市教育委員会主催の「成人の日」記念式典を行いました。

式典は実行委員会形式をとり、市内中学校から推薦を受けた、新成人18名による実行委員で企画・運営を行いました。

今年のテーマとして、「20年分のありがとうを贈る時」と題し、大切な人への感謝の言葉を手紙にして、伝えようというイベントを実施しました。他にもゴスペル演奏や太鼓演奏で会場を沸かせ、また新成人全体で、スピッツの「チェリー」を合唱し、式典は盛況のまま幕を閉じました。

新成人にとっては、懐かしい友人や恩師と再会できる機会でもあり、たくさんの笑顔が溢れた一日となりました。



実行委員と共に全体合唱



家庭教育ヒントコーナー



自立は子どもに任せることから

ある小学校の2学期末の懇談の後、2人のお母さんが立ち話…。

「金曜日に出される“うわぐつ洗い”の宿題大変なのよね。」「どうして?」「だって、うちの子のうわぐつの洗い方見てられないもの。結局私の宿題になっちゃって。」「うちの子も初めは1時間ぐらいかかって洗って、それでも、洗剤の洗い残りがいっぱいいたまま乾かしていたのよ。でも自分の宿題だから自分の責任よね。そのまま学校に持って行かせたわ。とにかく手は出さないで自分でできたらほめる。最近はやっと自分で上手に洗えるようになったの。」「がまん強いわねえ。」

うわぐつを自分で洗えることも“生きる力”のひとつ。子どもの自立を見守ることは、親としても忍耐のいることですね。思い切って子どもに任せて、自分でできたことをほめてあげましょう。もし失敗しても、自分の責任であれば、次は工夫して頑張るはず。「よし自分でやってみよう」という意欲と自信は、さらに子どもの学力面にも良い影響を与えます。

身近なところから子どもの“生きる力”を育むかわりを!v(^o^)





Daito 学校園めぐり NO. 5

諸福幼稚園

園児数：142名

園長：津田 千鶴子



幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う

重要なものです。その重要な幼児教育をしっかりと幼稚園で担っていきます。昨今の幼児を取り巻く環境から、幼児期のコミュニケーション力や体力の低下が課題としてあります。諸福幼稚園ではこの課題をもとに、日々の活動にねらいをもって取り組んでいます。

- ①自分の気持ちを表現し、相手の気持ちを受け止め協力し合う子どもを育てる。
- ②いきいきと遊べ、友だちとかわかれる環境をつくる。
- ③食べることの大切さを知らせ、感謝の気持ちを育てる。
- ④いろいろな人たちと、楽しみながら交流できる環境をつくる。

思いやりの心を持ち
協力し合う子どもを育てる
いろんなともだち・みんなだいすき!



地域の方との交流



体力づくり

北条幼稚園

園児数：123名

園長：富岡 久美江



笑顔かがやく幼稚園

豊かなかかわりの中で
共に育ち合う子どもの育成

本園では、地域の特色でもある和太鼓を保育に取り入れ、年間を通して取り組んでいます。和太鼓の音色は、心と体に響き合います。和太鼓の演奏を通して、仲間と音を合わせる心地よさを十分に味わい、協調性やリズム感が育っています。また、幼児・教師・保護者・地域の人と共に学べるように、幼児の姿を捉え、幼児の視点に立ち、毎年度当初に年間計画を立てています。そして、家庭や地域と共に、相互性のある活動を展開しています。



大東市民文化祭出演

今年度は、体を動かしていろいろなことができるようになり“うれしい”・いろいろな食物を食べて“おいしい”・友だちと一緒に“たのしい”と食育と運動に重点を置きテーマを「うれしい・おいしい・たのしいね!」とし、保育を展開し、保育内容を工夫しています。

◎両園のホームページは「大東市ウェブサイト」の「各課からのお知らせ」からご覧になれます。